

# 国東中央公民館だより

発行 国東中央公民館

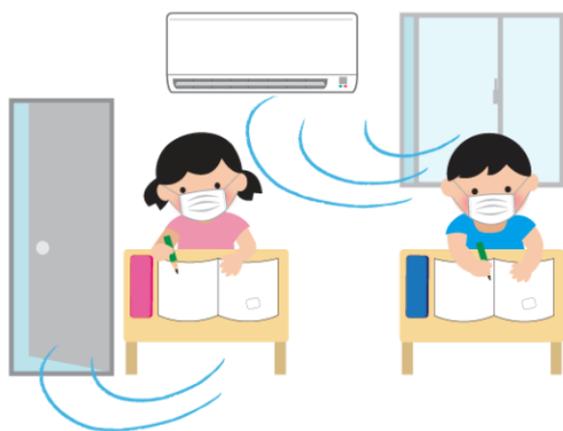
館長 岐部

県内コロナ感染者0人続くが

冬にむけ**第3波を警戒!**

インフルエンザとあわせて

感染防止に十分注意を



### 3密防止・マスク着用・水分補給を心がけて!

県内では9月9日より、市内では9月1日より感染者の発生は出ていません。しかし東京などをはじめ、都市部では感染がおさまっていません。世界的にも感染者は増加の一途で、死者は100万人を超えています。今後経済活動の広がりや海外からのビジネス客の入国制限緩和により、国内での感染拡大も懸念されています

公民館活動も、県や市の方針にそって利用制限や不要不急の行事等の自粛をお願いしています。特に高齢者は重症化の可能性が高く、引き続き慎重な対応が求められていますので、ご理解をお願いいたします。

### <◆参考資料～市の基本方針>

何人程度の行事、イベントであれば開催してよという科学的な根拠はなく、市として基準を示すことはできないが、不特定多数、または高齢者

の参加が想定される市主催の行事・イベント等は、これまでと同様に当面、延期または中止すること。

なお参加者が特定できる小規模な行事・イベント等（不要不急の行事・イベント等は除く）については、十分な感染予防対策を講じたうえで開催することができる。

以上が市の基本方針ですが、ここ1ヶ月ほど県内で感染者が発生していないことから、高齢者を対象とした公民館活動の屋外スポーツ（グランドゴルフやゲートボール大会など）の開催については、感染予防に十分な注意を払うならば10月より実施も可能となりました。（開閉会式や休憩時に密になりやすいので、極力自粛をお願いします）。

この方針に今後変更が出た場合には、各地区公民館の担当より皆さんにお知らせ致します。

### 今後の公民館 ～研修資料より

9月に大分県主催の研修会が、例年と比べ少人数に制限された参加者数で実施されました。その資料の一部をご紹介します、今後の活動の参考になればと考えます。

#### ～日田市大鶴公民館の取り組み～

#### ◆九州北部を襲った豪雨被害から災害対策

##### 1) 災害時の対応を見直す

さらにコロナ禍での対応に変化

①避難者の制限 ②体調不良者の一時待機場所の新設 ③分散避難のお願い～指定場所以外の安全な場所への非難と避難者は自治会長や市に連絡

##### 2) 災害に強い町づくりにつながること

###### ①自主防災組織づくり～大鶴防災士会

令和元年に地区の防災士の資格を有するもので設立。会員24名。防災講演会の開催や避難場所での感染対策の検討など実施。

###### ②自主防災組織の必要性和公民館

- ・交通手段のない高齢者や要介護者などの避難をどうするか。行動に移すには地域の力が必要。
- ・公民館での学びを通して防災の必要性、自主防災組織の必要性に気付いてもらうことが重要。そのためには、平時から地域のつながりをつくり、防災意識を高めることが公民館の大事な役割。

### 自主防災組織の活動を公民館が支援

防災講演会を防災士会と共催で開催して、学びの場を共に作る。また、公民館だよりで防災士の活動をアピール。地域の実情に詳しい公民館が講演会を共催することで、地域に実情にあった内容の講演が開催できる。等

### 多様化・複雑化するリスクに

#### 地域はどう備えるべきか

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長

小林 祐司さんの講演より（要約の一部）

- 1) 自分が住む地域の状況確認。  
ハザードマップは住宅地のみ。全体をのせるともっとリスクは大きい（通勤ルートの特検等）。
- 2) 避難の再考～夜避難しない。避難場所は行政主導でないと地域だけでは無理。ホテル避難等。

3) 住むことの再考～今の場所に住むことが安全かどうかの再考も必要。

リスクを正しく認識せずに、十分な防災対策をとることは不可能～川の周辺は危険性が高く、公民館が設置されている場合もある。特に中山間地は課題が大きい。復旧しても、また被災する可能性あり。

<心理面からの災害>

- ・「みんなでいれば怖くない」・「自分は大丈夫だ」・「目先の利益にとらわれて、防災対策を先延ばし」

<災害時の意思決定原則>

- ◆ 疑わしい時は行動 ◆ 最悪の事態を想定して行動 ◆ 空振りには許されるが、見逃しは許されない

<課題>

- ①被災した場合、生活再生だけでなく産業再生も必要→次なる災害への対応
- ②地域コミュニティの再構築
- ③どこまでならリスクを許容できるか

## 新型コロナ禍での公民館活動とは？

新型コロナの影響で、高齢者学級をはじめ様々な行事やイベントが中止または延期になっています。県主催の会議なども、パソコンを使ったリモート会議の開催が増えています。パソコンの苦手な自分は取り残されていくのではと、少し不安を覚えています。ケーブルテレビを使った講演など出来ないか考えてみたりしましたが、放映時間の問題等でできませんでした。高齢者の方々は感染すると重症化しやすいため、少人数集で3密にならない方法を考えていくしかありません。

一つの例として、小学生4年生以上対象の発明クラブを、やっと8月から開催しています。例年30～40名の応募がありますが、今年は人数を限定して20名としました。会場も今までよりも広いアグリホールに変更し、大型扇風機も設置して換気をしやすくしての実施です。もちろん、受付で参加者の検温と手指消毒、さらに健康観察表の提出もして感染防止を徹底しています。高齢者学級では参加者を20～30名に絞って、さらに2m前後の間隔をあけての開催は厳しいと思いますが、屋外など安全に出来る取り組みはできないか、今後も考えていきます。

### ミニ情報 漆喰塗料は新型コロナウイルスを不活性化！

長崎大学の安田教授は、実証実験の結果として新型コロナウイルスが接触5分で99.9%以上の不活性化効果を確認したと発表。抗菌・抗ウイルス効果が優れているとのこと。

**予定** 10月20日（火）大分県公民館研究大会～場所日出町中央公民館 12:30 受付、13:00 全体会、13:30 分科会。